

政策1 市民と行政のパートナーシップの確立

施策1 市民との情報の共有化

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
広報紙等発行事業				情報広報課
予算科目		決算額(円)		
会計	款	項	目	19,776,055
一般	2	1	2	
広報長岡京				
				
目的				
すべての市民に、確実に正確な行政情報を提供することを目指します。				
内容				
「広報長岡京」（広報紙）などの刊行物を編集及び発行します。				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
全世帯に行政情報を届けるため、広報紙の全世帯配布を維持します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
広報紙を月2回発行、シルバー人材センターへの委託により全世帯に配布(年間計741,200部)(平成21年度)	目標	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします
	実績	広報紙を月2回発行、シルバー人材センター委託により全世帯に配布(年間計781,644部)	広報紙を月2回発行、シルバー人材センター委託により全世帯に配布(年間計785,760部)	広報紙を月2回発行、シルバー人材センター委託により全世帯に配布(年間計825,322部)	広報紙を月2回発行、シルバー人材センター委託により全世帯に配布(年間計829,761部)	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 読みやすい紙面をめざし写真やイラストを多く使うよう努めました。手に取り、読みたいと思ってもらえる広報紙となるよう、インパクトを重視し表紙を全面写真に変更しました。 10月の史跡恵解山古墳公園のオープンに合わせ、子育て世代に親しみを持ってもらえるような内容に焦点を当て、古墳公園を紹介する臨時号を発行しました。 高齢者の運転免許証返納制度を特集した6月1日号が、京都府広報賞の広報紙部門(市の部)で会長賞を受賞しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
<ul style="list-style-type: none"> 伝えるべき情報をていねいにわかりやすく説明するよう心がけて紙面を作成しました。 配布については、委託先と連携し全世帯へ迅速かつ確実に届くよう努めました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> すべての市民に正確な行政情報を提供するためには、配布された広報紙がすべての市民に読まれること、また全ての市民が理解できるような表現で記事を作成することが求められます。そのために、分かりやすい表現の文章とすることや、継続して魅力ある表紙写真、求心力の高い見出しを付けることなどを心がけていきます。 最大限に読者の関心を得られ、最も有益となる適切なタイミングで情報を発信します。 						

政策1 市民と行政のパートナーシップの確立

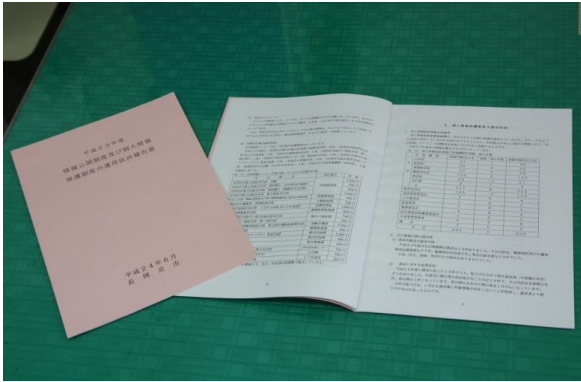
施策1 市民との情報の共有化

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
ホームページの充実事業				情報広報課
予算科目		決算額(円)		
会計	款	項	目	3,330,600
一般	2	1	2	
市ホームページ				
				
目的				
<p>情報化社会の進展に対応する市ホームページの充実を図り、適切・適時の情報提供を進めます。</p>				
内容				
<p>市の政策や施策、計画、条例、会議録などをホームページで公開します。また、適切で適時の情報提供を行います。</p>				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
市ホームページの充実により、アクセス件数（月平均）を増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
38,850件/月 (平成21年度)	目標	40,000件/月	40,500件/月	41,000件/月	42,000件/月	43,000件/月
	実績	38,355件/月	57,592件/月	42,679件/月	37,962件/月	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡恵解山古墳公園の開園予告動画と開園式典・オープンイベント動画、また観光PRのための「恋するフォーチュンクッキー 京都府長岡京市ver.」、検診受診PRのための「恋するフォーチュンクッキー 健康力高め女子ver.」の合わせて4本の動画を配信し、市ホームページを見ていただくきっかけ作りに努めました。 ・ 市民が親近感を持てるよう、まちの身近な出来事を週に1度程度のペースで「写真ニュース」コーナーで紹介しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた（目標の80%～100%）				
<p>・ 現行のホームページシステムでは、パソコンと携帯電話からのアクセス件数しかカウントできない仕様となっており、スマートフォンの普及に伴いパソコン利用者数が減少を続ける中、把握できるアクセス件数が減少したと考えられます。</p>						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 民間会社が行ったPCやスマートフォンにおける2014年インターネット利用動向調査において、2014年7月でPCの利用者減少が底を打ったとのデータもあり、社会環境の変化によるアクセス件数の減少はゆるやかになっていくと思われま。継続してアクセス件数の増加に努めます。 ・ スマートフォンの普及でますます気軽に利用できるようになったSNSによる情報発信の強化を図り、長岡京市に興味を持っていただいたり、更に詳しい情報を掲載する市ホームページへ誘導するように努めます。 						

政策1 市民と行政のパートナーシップの確立

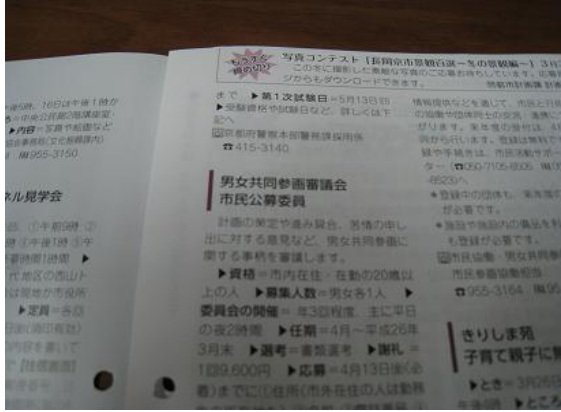
施策1 市民との情報の共有化

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
情報公開・個人情報保護事務事業				情報広報課
予算科目		決算額(円)		
会計	款	項	目	346,579
一般	2	1	2	
運用状況報告書				
				
目的				
市民に対する説明責任を果たすため、情報公開及び個人情報保護の基盤整備を進めます。				
内容				
公開請求に基づく行政情報の公開及び、行政事務内容の情報提供を推進します。				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
行政の説明責任を果たすための基盤として、毎年情報公開の状況を取りまとめて公表します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
6月に運用状況報告書を公表し、議会に報告。 6月15日号広報紙面及びホームページで公表(平成22年度)	目標	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします
	実績	6月に運用状況報告書を公表し議会に報告、6月15日号広報紙面及びホームページで公表	6月に運用状況報告書を公表し議会に報告、6月15日号広報紙面及びホームページで公表	6月に運用状況報告書を公表し議会に報告、6月15日号広報紙面及びホームページで公表	6月に運用状況報告書を公表し議会に報告、6月15日号広報紙面及びホームページで公表	6月に運用状況報告書を公表し議会に報告、6月15日号広報紙面及びホームページで公表
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度の「情報公開制度及び個人情報保護制度の運用状況報告書」を6月に発行するとともに、広報長岡京やホームページで運用状況を公表しました。また、市民情報コーナーに公文書目録と個人情報取扱事務登録簿を配架し、情報公開請求及び自己情報開示請求の情報提供に努めています。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度情報公開制度及び個人情報保護制度の運用状況報告書を発行するとともに、広報長岡京やホームページで運用状況を公表しました。 基幹情報を中心に行政資料を市民情報コーナーに配架し、閲覧に供するとともにコピーを可能として、行政資料の有効活用に努めています。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 広報紙やホームページで積極的な情報発信に努めるほか、行政情報の的確な発信と情報提供を推進します。 平成28年1月から利用開始される社会保障、税番号制度導入により、個人情報保護条例を整備し、個人情報保護体制の整備について引き続き、国の方針に準じて、個人情報の保護の強化に努めます。 行政資料の配架基準を定めるとともに、より市民に必要な行政資料を提供できるよう、市民情報コーナーの充実に努めます。 						

政策1 市民と行政のパートナーシップの確立

施策2 市政への参画の促進

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
市民公募委員推進事業				市民協働・男女共同参画 政策監
予算科目		決算額(円)		
会計	款	項	目	
—	—	—	—	—
目的				
審議会等の公正かつ円滑な運営と市政に対する市民の理解を深めるため、市民に幅広く市政に参画できる機会を設けます。				
内容				
審議会所管課などに対して「審議会等の設置及び運営等に関する基準」の周知徹底を図り、市民公募委員採用の増加を働きかけます。				
審議会委員募集の広報募集記事				
				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
市民公募委員の採用が可能な審議会等（行政委員会及び休会中のものを除く）のうち、市民公募委員を実際に採用している審議会等の比率を高めます。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
39.22%(平成21年度)	目標	46%	49%	52%	55%	58%
	実績	44.0%	46.9%	55.8%	51.0%	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 審議会等の委員改選時に市民公募委員の有無を確認し、特に改選前に市民公募委員の参画がなかった審議会等については、市民公募委員の参画を促しました。 ・ 市広報紙のみでなく、市ホームページにおいても、市民公募委員の募集情報を掲載し、広く周知を図りました。 ・ 地方自治法に規定する附属機関との関係の議論を踏まえ、懇談会等の位置づけを一層明確化するよう努めました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた（目標の80%～100%）				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成26年度末時点の市民公募委員の参画している審議会等数は、対象となる51審議会中、26審議会、その比率は51.0%でした。市民公募委員の参画していない25審議会等のうち、22審議会等が専門性を有したり、個人の秘密保持を要する等、運営上、市民公募委員の参画が難しいものでした。 ・ 平成26年度に新たに設置した審議会等で市民公募委員が参画した審議会等もありましたが、これまで市民公募委員の参画のあった審議会等の廃止等により、達成率は低下しました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 条例や設置要綱で、市民公募委員の枠がない審議会があります。 ・ 市民公募委員への応募が少ない状況があるため、市広報紙だけではなく、多様な媒体や機会を用い、より広く周知し、市民参画の促進を図ります。 ・ 専門性を有した審議会等については、市民公募委員の参画が難しい状況にありますが、応募資格に有資格を加えるなど、可能な限り市民が市民公募委員として参画できる機会を増やします。 ・ 市民公募委員等候補者名簿登録制度を創設し、より幅広い市民に市民公募委員として参画する機会をつくります。 						

政策1 市民と行政のパートナーシップの確立


施策2 市政への参画の促進

事務事業の概要				
事務事業名称				担当課
まちかどトーク事業				情報広報課
予算科目		決算額(円)		
会計	款	項	目	2,919
一般	2	1	2	
目的				
市民との直接対話を通じて、市民のニーズを把握します。また、市民に行政情報を提供します。				
内容				
市長自らが出向いて市民と直接対話することにより、市民のニーズを把握し、また市民に行政情報を提供します。				
まちかどトーク(第83回みどりのサポーター)				
				

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
幅広い年齢層のサークル、団体に働きかけ、参加者数を増やします。また、開催状況をホームページなどに掲載し、市民に公表します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
6団体160名 (平成21年度)	目標	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします
	実績	年間 167人	年間 176人	年間 322人	年間 274人	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> ・市長が出向いて、総合計画の重点テーマ・重点施策等を直接市民と対話をする「まちかどトーク」は計8回開催し274人の参加がありました。 ・当日の参加者については、対象団体の会員以外に広報紙でも募集し、広く参加を呼びかけました。 ・また、市民からの希望に応じて市職員が出向き市政に関する説明を行う「出前ミーティング」は計62回開催し、1,739人の参加がありました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度は8回開催しました。主要施策を把握し、市民に対し必要な行政情報の発信に努めました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画に関係する団体等及び幅広い年齢層のサークルや団体等に参加を働きかけ、市政について理解や信頼をしてもらえるよう情報提供していきます。 ・広報紙やホームページ等で「まちかどトーク」の情報を発信するとともに、様々な分野で活動している諸団体にも積極的にPRを行い、さらなる周知を図ります。 						

政策1 市民と行政のパートナーシップの確立


施策3 コミュニティ活動の促進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
市民活動サポートセンター管理運営事業				住民が地域の課題を解決する「地域力」の向上	市民協働・男女共同参画政策監
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	8,728,384	
一般	2	1	14		
目的					
NPOなどの市民活動を支援します。					
内容					
市民活動を支援する場を提供します。なお、この施設の管理に関しては、NPOなど市民活動を支援する団体に委任します。					
市民活動サポートセンター					
					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
市民活動の拠点となる市民活動サポートセンターの利用促進が市民活動の支援拡大につながるため、市民活動サポートセンターの利用者数と団体登録数の増加を目指します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
12,834人 (イベント入場者除く) 127団体 (平成23年度)	目標	19,000人 100団体	19,250人 105団体	13,000人 125団体 <small>※25年度からの目標値</small>	13,250人 130団体	13,250人 135団体
	実績	12,834人(イベント入場者除く) 127団体	12,881人(イベント入場者除く) 123団体	12,654人(イベント入場者除く) 131団体	12,003人(イベント入場者除く) 135団体	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 市民活動サポートセンターの管理運営を指定管理者制度のもとNPO法人長岡京市民活動サポートセンターに委託し、①市内で活躍する登録団体の活動の市民への紹介、団体同士や団体と市民のネットワークづくりの支援②センターや協働を市民に知ってもらうための各種事業の実施③活動している団体や活動をしたいと考える市民に対する相談及びアドバイスの実施、などを行いました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%~100%)				
<ul style="list-style-type: none"> 登録団体数については、施設利用ができる登録団体数として計上しています。 研修等を通してスタッフのスキルアップに努めたことにより、中間支援組織としての機能向上につながっています。 イベント・事業への参加者、来場者を除いた利用者数は、ミーティングルームの利用者数が6,243人、一般の来館者が5,760人でした。ミーティングルームの利用者は減少した一方で、登録団体数、一般来館者数とも増加しました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> まちづくりに興味のある市民の方や活動している団体に対して、市民活動サポートセンターのことの更なる周知や、活動している団体に対する悩み相談やアドバイスの充実を図っていくことが課題です。 市民活動サポートセンターに来てもらえるような事業の実施や誰でも気軽に使える施設の雰囲気づくりや市民活動に関する課題に的確に助言できる事務局の体制づくりを進めます。 指定管理の役割と法人の役割の整理と、それぞれの役割に沿った事業展開を推進するとともに、団体と行政とをつなぐ中間支援組織としての機能を更に高め、行政との協働を進めます。 						

政策1 市民と行政のパートナーシップの確立


施策3 コミュニティ活動の促進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
市民参画協働推進事業				住民が地域の課題を解決する「地域力」の向上	市民協働・男女共同参画政策監
予算科目			決算額(円)	市民活動応援補助金活動発表会 	
会計	款	項	目		
一般	2	1	19		
目的					
市民協働のまちづくり指針などに基づき、市民と行政のパートナーシップを推進します。					
内容					
市民参画協働懇話会の運営や協働プラットフォームの実施、パブリックコメント制度の活用促進を行います。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
協働プラットフォームの運営を進めます。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
2の協働プラットフォームの運営 (平成22年度)	目標	1から2の協働プラットフォームの運営	1から2の協働プラットフォームの運営	1から2の協働プラットフォームの運営	1から2の協働プラットフォームの運営	1から2の協働プラットフォームの運営
	実績	2の協働プラットフォームの運営	1の協働プラットフォームの運営	プラットフォームは運営せず(これまでの提案事項の具現化を検討)	プラットフォームは運営せず(これまでの提案事項の具現化を検討)	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 市民参画協働懇話会を2回実施し、市の施策などについて協議しました。 ふれあいの居場所づくりについて、市民と行政が協働する「長岡京コミカフェネット」を立上げ、担い手のネットワーク化を図りました。 市民活動応援補助金活動発表会を、市民活動サポートセンター登録団体活動発表と共同開催し、団体自らの活動の振り返りの場とするとともに、団体間の交流を図りました。 パブリックコメント制度を活用し、10件の案件について市民からの意見を募り、いただいたご意見を一部案件に反映しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できなかったが、最終目標は達成する見込み				
<ul style="list-style-type: none"> 市民協働のまちづくりに向け、市民参画協働懇話会と協議することができました。 ふれあいの居場所づくりの推進を図るため、プラットフォームにおいて提案のあった、担い手のネットワーク化の仕組みづくりに取り組み、市民と行政が協働する「長岡京コミカフェネット」を立上げ、「居場所MAP」の作成やカフェ実践を支援しました。 パブリックコメント制度については適切な運用を図りました。 市民活動応援補助金活動報告会を開催し、市民活動団体が自ら活動を振り返るとともに、団体間の交流を図ることができました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 市民発の協働事業は少しずつ広がりつつありますが、市発の協働事業はまだまだ少ない現状です。 「ふれあいの居場所協働プラットフォーム」において提案のあった具体的展開策(担い手発掘・育成、ネットワーク化、定期的な情報交換の場の設定、市民への情報発信)を実施した5年間の活動実績を振り返るとともに、今後の展開を検討し、取り組みます。また、財政的に自立した市民活動団体の育成を支援します。 平成26年度に立ち上げた「長岡京コミカフェネット」の活動を支援します。 市民活動団体の財政的自立に向けた計画づくりに寄与するべく、市民活動応援補助金等の補助金制度と活用事例の周知を図ります。 						


政策1 市民と行政のパートナーシップの確立

施策3 コミュニティ活動の促進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
地域コミュニティ活性化事業				住民が地域の課題を解決する「地域力」の向上	市民協働・男女共同参画政策監
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	3,109,837	
一般	2	1	19		
地域コミュニティ協議会の会議					
					
目的					
校区の各団体同士がそれぞれの活動に目を向け、地域課題を共通認識する中で、その解決に向けて共に取り組む体制を構築します。					
内容					
行政が対応してきた守備範囲を見直し、地域コミュニティに関連する様々な事業を地域住民が自ら考えて活動できるよう、小学校区単位で支援します。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
小学校区単位の地域コミュニティ支援モデル地区を設定し、包括的に支援します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
3地区 (平成22年度)	目標	毎年度1～2地区	毎年度1～2地区	毎年度1～2地区	毎年度1～2地区	毎年度1～2地区
	実績	1地区増 計4地区	計4地区	1地区増 計5地区	計5地区	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 小学校区を単位に、校区の団体や市民と行政が連携し協力する中で、その地域の課題を解決する仕組みを模索するため、長岡第三小学校区、長岡第四小学校区、長岡第五小学校区、長岡第七小学校区、長岡第九小学校区の5小学校区において地域コミュニティ活性化事業を実施しました。 各校区には地域コーディネーターを配置し、校区団体間の事業や活動の調整役、行政とのパイプ役を担いました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%～100%)				
<ul style="list-style-type: none"> 長岡第三小学校区、長岡第四小学校区、長岡第五小学校区、長岡第七小学校区、長岡第九小学校区について、地域コーディネーターと連携しながら校区関係者間で協議を重ね、それぞれの校区において地域コミュニティの醸成にかかる活動の支援を実施しました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 校区での活動母体となる地域コミュニティ協議会を新たに設置するにあたり、既存の各種団体関係者に懸念されている、新たな組織に参加することによる負担感の増大、自治会離れへの危惧等の解消に努めます。 地域の実情に応じた地域コミュニティ協議会の設立に向け機運の醸成を図ることができるよう、各種団体や地域住民と引き続き協議します。 地域の各種団体と協議していく中で地域の課題や問題点を洗い出し、その課題等の解決のために、行政でできること、地域でできることを明確化し、市民の主体性を尊重しながらともに問題解決に向けて取り組んでいきます。 						


政策1 市民と行政のパートナーシップの確立
 施策3 コミュニティ活動の促進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
市民交流フロア等管理運営事業				住民が地域の課題を解決する「地域力」の向上	総合交流センター
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目	24,265,000	
一般	2	1	13		
目的					
市民交流フロアの機能を通して市民相互の交流を図り、市民の社会的、文化的な創造を促進します。					
内容					
JR長岡京駅西口のバンビオ1番館内総合交流センターで、市民交流フロアとして、児童室の自由利用や談話コーナーの設置をはじめ、住民票など証明書類の交付サービス、インターネット利用サービス、各種行政情報の提供、その他市民サービスの提供及び市政案内を行います。					
市民交流フロア(行政サービスコーナー)					
					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
市民交流フロア等の利用状況を示すものとして、各種行政サービスの利用件数の増加を目指します。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
証明書類380件、インターネット3,769件、図書返却5,684件／18,471冊、広場利用者48,428人(平成23年度)	目標	証明書類430件、インターネット4,300件、図書返却5,700件／18,400冊、広場利用者64,000人	証明書類430件、インターネット4,400件、図書返却5,800件／18,800冊、広場利用者64,000人	証明書類440件、インターネット4,500件、図書の貸し出し及び返却6,000件/20,000冊、広場利用者64,500人 ※25年度からの目標値	証明書類440件、インターネット4,600件、図書の貸し出し及び返却6,100件/20,500冊、広場利用者64,500人	証明書類450件、インターネット4,700件、図書の貸し出し及び返却6,200件/21,000冊、広場利用者65,000人
	実績	証明書類380件、インターネット3,769件、図書返却5,684件/18,471冊、広場利用者48,428人	証明書類497件、インターネット3,584件、図書貸出2,048件/2,761冊、図書返却6,964件/20,915冊、広場利用者29,491人	証明書類595件、インターネット3,961件、図書貸出4,351件/5,654冊、図書返却8,300件/23,223冊、広場利用者35,633人	証明書類488件、インターネット4,811件、図書貸出4,502件/5,861冊、図書返却8,532件/24,323冊、広場利用者35,383人	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 事務事業の取り組みを総合交流センター内の市民交流フロアで行っていることを市民に周知するため、広報長岡京や市のホームページに機会を捉えて掲載し、お知らせすることに加えて指定管理者のホームページでも周知を図ってきています。 また一方、市民と直接接する窓口には、市民との接し方について親切・丁寧に行うよう指導し、好意的な評価を受けています。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		達成できた(目標の100%以上)				
<ul style="list-style-type: none"> 広場公園の利用者数を除いては、目標指標の総件数比較で138%(実績件数18,333件/目標件数13,240件)と大幅に増加し、市民交流フロアでの取り組みが市民に周知されてきたことに加え、今日の市民ニーズ・社会環境の変化がこの事務事業で取り組んでいる市民サービスに的確に反映していると言えます。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 市民交流フロア及び広場公園の目的とする市民相互の交流の場として、より多くの市民に利用していただくには、これまで以上に受け入れる側のサービス分野での拡大や機能面での充実を図っていく必要があります。 サービス分野の拡大については、市民が求めるサービスが何なのか、また、どれほどの市民が求めているものかなどを把握し、提供できるサービスかどうかの検討が必要であり、関係団体や各課と連携して、事業を進めていく必要があります。 機能面での充実に関しては、市民多様化するニーズにも施設機能の充実と施設利用を運用面でカバーできるように制度の見直しを図る必要があります。 						

政策1 市民と行政のパートナーシップの確立

施策3 コミュニティ活動の促進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
長岡京ガラシャ祭（市民まつり）実行委員会事業				文化に親しみ、教養を深める機会を創出する「文化力」の向上	総務課
予算科目			決算額(円)		
会計	款	項	目		
一般	2	1	8		
			14,000,000		
目的					
市民相互の連携・ふれあいを促進するため、長岡京ガラシャ祭を支援します。					
内容					
市民で組織する長岡京ガラシャ祭実行委員会に対して助成を行います。					
行列巡行(輿入れ)					
					

事務事業の目標と実績						
目標指標と実績						
地域振興を目的に市民や市民団体が主体的に考え、事業運営できるよう誘導します。また、事業経費に占める一般財源充当額(補助金額+人件費相当分)の削減を目指します。						
現 状 (計画策定)	年度	23	24	25	26	27
一般財源充当額 24,600,000円 (平成22年度)	目標	24,600,000円	23,600,000円	市民まつりとして、市民主導での事業運営に移行できるよう誘導します。 22,800,000円	22,000,000円	一般財源充当額 21,000,000円
	実績	24,600,000円	24,600,000円	24,600,000円	23,600,000円	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 11月1日～9日をガラシャウィークとして設定し、バンビオ1番館・神足ふれあい町家・中央公民館等の会場でサポセンフェスティバル・市民団体によるコンサートや展覧会、自髪結による時代衣裳体験や立命館中学校・高等学校開校記念交流演奏会等多数開催し、ウィーク全体で約12,800人の集客がありました。 最終日は行列巡行及び婚礼の儀・楽市楽座・京都府グルメフェアなどを屋外の各会場において実施しました。 早朝には雨天の心配をしましたが、昼頃には雨が上がり、無事行列巡行及び婚礼の儀を行いました。 大河ドラマ誘致推進協議会の関係市町ご当地キャラのステージ等も賑わいのなかでの実施となりました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた(目標の80%～100%)				
<ul style="list-style-type: none"> ガラシャウィークも7年目となり、自主的に運営可能な団体が増えてきたことから、市職員の事前調整や負担軽減が図られ人件費の縮減につながりました。 一昨年度からの課題としてきた雨天時の情報提供・連絡体制を活用し、関係団体への連絡をスムーズに行うことができ、3年ぶりに行列巡行が実施できました。 関係団体からイベント協力員を選出し、主体的に運営にあたるしくみを試行しました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 各種団体から選出のある実行委員が交代する際に、引継ぎ等が困難な場合が多く、実行委員会の組織的な企画・運営能力の維持・向上が必要です。 実行委員の役割を再点検し、事務局との分担を整理する中で、実行委員の交代にも対応できる組織づくりに取り組み、市民まつりとして誇りを持って担える仕組みを検討します。 限られた財源の中で祭のにぎわいを作る必要があり、例年の内容にとらわれず、必要経費を精査・検討する中で、にぎわいづくりに不可欠な事業に支出を集約します。 						


政策1 市民と行政のパートナーシップの確立

施策3 コミュニティ活動の促進

事務事業の概要						
事務事業名称				重点テーマ		
自治会活動支援事業				住民が地域の課題を解決する「地域力」の向上		
予算科目				決算額(円)		担当課
会計	款	項	目	17,676,720		総務課
一般	2	1	8			
目的						
自治会として時期に応じた事業を実施することを容易にし、会員相互が親睦を深め、コミュニティ意識が醸成されるよう促します。						
内容						
自治会活動への支援を行います。また、自治会の加入世帯増加の取り組みを行います。						
事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
全国的に自治会離れが進むなか、自治会の加入世帯数を維持または増やします。						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
58自治会 20,681世帯 (平成22年4月 1日)	目標	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします	上記内容を目標とします
	実績	57自治会 20,304世帯	57自治会 20,148世帯	57自治会 19,974世帯	57自治会 19,566世帯	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> 各自治会における会員数が維持又は増加するよう、加入を促す記事を広報長岡京へ掲載、自治会勧誘チラシの作製などの支援を行うとともに、自治会の運営が円滑に進むよう各種の相談に応じました。 自治会加入希望者の参考となるよう市ホームページに各自治会の事業紹介ページを拡充しました。併せて、住宅開発等により加入対象者が増加した自治会には、加入促進の取り組みを促しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況			ほぼ達成できた(目標の80%~100%)			
<ul style="list-style-type: none"> 宅地開発による転入・転居者に積極的に加入勧誘が実施されたことにより新規自治会員が増加する一方で、死亡・転居などによる社会的減少と高齢化による自治会活動への負担感の増大により脱退者が生じたことなどから、全体としては自治会加入世帯数は微減となりました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 会員の高齢化とともに、活動が縮小したり、自治会活動を負担に感じることによる脱会が増加しています。また、自治会役員の後継者不足について各自治会とも不安を感じています。自治会の加入意義について市内外の活動事例の紹介等を通して市民に周知啓発するとともに、各地域の実態に応じた実施手法の相談に応じます 自治会活動について会員の理解・引継ぎがスムーズになるよう、事業計画や収支決算などの書類の作成方法の例示や、行政とのやりとりが必要な時期等をわかりやすく案内します。 自治会未組織地域にも自治会の必要性についての理解を得られるよう啓発の取り組みを進め、組織化に向けて働きかけます。 						

政策1 市民と行政のパートナーシップの確立

施策3 コミュニティ活動の促進

事務事業の概要					
事務事業名称				重点テーマ	担当課
多世代交流ふれあいセンター管理運営事業				新しい都市基盤の構築とその活用による「交流・活力・にぎわい」の創出	多世代交流ふれあいセンター
予算科目		決算額(円)			
会計	款	項	目	11,252,862	
一般	2	1	20		
聴覚言語障がい団体の運動会の様子					
					
目的					
世代を超えた市民の幅広い交流を促進し、市民活動、男女共同参画、地域福祉、健康づくり及び生涯学習に寄与します。					
内容					
市西部の新たな公共施設として、多世代が交流するふれあいの場を提供するとともに、コミュニティ活動の促進を図ります。					

事務事業の目標と成果						
目標指標と実績						
多世代交流ふれあいセンターの利用者数を増やします。 *「生涯学習フロア」の利用者数から、センターの全利用者（「生涯学習」「市民活動オフィス」「男女共同参画」「健康福祉」「地域障がい者交流」「地域医療交流」「こども交流コーナー」の合計）に指標変更						
現 状 (計画策定時)	年度	23	24	25	26	27
20,174人/年 (平成23年度 見込み)	目標	11,000人/年	12,000人/年	34,000人/年 ※25年度からの目標値	35,000人/年	36,000人/年
	実績	20,174人/年	18,377人/年	31,315人/年	32,387人/年	
平成26年度の事業内容						
<ul style="list-style-type: none"> センターの利用促進につながるよう、特に女性利用者に配慮し、更衣室内部の仕切りをカーテンからパーテーションに変更しました。 障がい者、高齢者のふれあい交流を支援するため、西側出入口階段のスロープ化工事を実施しました。 						
平成26年度の達成状況						
年度目標の達成状況		ほぼ達成できた（目標の80%～100%）				
<ul style="list-style-type: none"> 「生涯学習フロア」の利用者数は、平成24年度18,377人、平成25年度19,338人、平成26年度21,066人と推移しました。一方、「生涯学習」「市民活動オフィス」「男女共同参画」「健康福祉」「地域障がい者交流」「地域医療交流」「子ども交流コーナー」まで加えたセンター全体の利用者は、平成24年度30,465人、平成25年度31,315人、平成26年度32,387人となりました。 						
課題と今後の対応						
<ul style="list-style-type: none"> 女性の積極的な利用がみられる一方、特定の曜日と時間帯（火・木・金曜日の午前中など）に利用者と車両が集中し、混雑する傾向があります。適切な維持管理費の中での解決方策（サービス提供方法）を検討していきます。 						